

令和1年12月25日

セミナー開催案内

開催日時：令和2年1月7日（火）15：10～16：40

場 所：工学研究科 C2-201 セミナー室

演 題「形状記憶・超弾性合金の基礎と医療デバイスへの応用」

講 師： 土谷 浩一

国立研究開発法人 物質・材料研究機構

若手国際研究センター(ICYS) センター長

構造材料研究拠点 設計・創造分野 耐食合金グループ

グループリーダー

概 要：

変形しても加熱すると元の形状を回復する形状記憶合金、大きな弾性変形（～8%）を示す超弾性合金は家電製品、人工衛星からステント、カテーテルなどの医療デバイスまで、非常に広く用いられている。

現在、最もよく使われているのはTiNi合金であるが、最近ではチタン系、鉄系、銅系合金の応用も広がりを見せるとともに、マグネシウム系の形状記憶・超弾性合金も開発されている。

本講では、形状記憶効果、超弾性の原理と、医療デバイスを中心とした最近の応用例や研究動向について説明する。

問合せ先： 工学研究科機械工学専攻

向井敏司 （内線 6129）